令和5年5月1日時点

# 国立大学法人等施設の非構造部材の耐震点検・耐震対策の状況

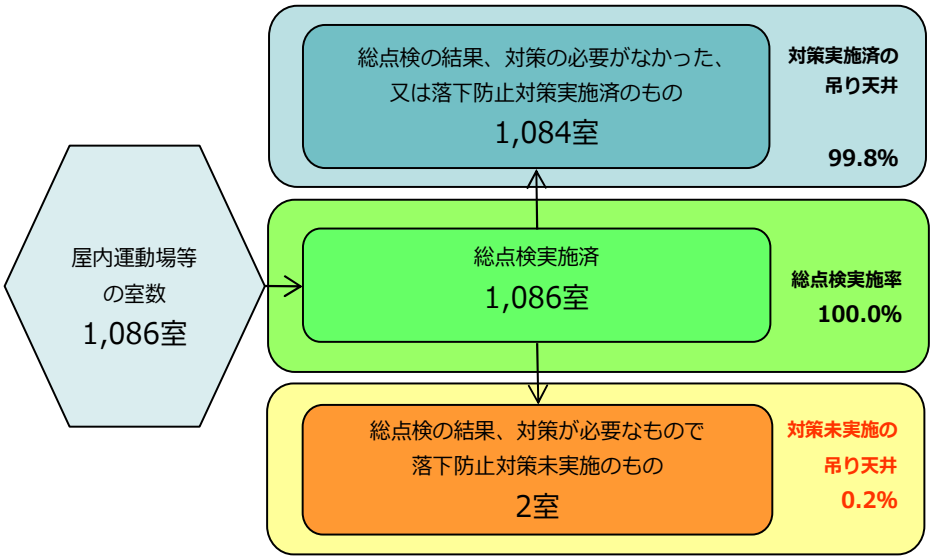
※大学、共同利用機関等、高等専門学校（機構本部を含む）　92法人の合計

## ○屋内運動場等の吊り天井等の落下防止対策

国立大学法人等施設の屋内運動場等1,086室のうち、対策実施済みの吊り天井は1,084室（99.8%）となっている。

なお、調査対象は、屋内運動場等（屋内運動場・武道場・講堂・屋内プール）のうち、高さ6メートルを超える吊り天井、空間又は水平投影面積が200㎡を超える吊り天井、空間を有する室とする。吊り天井、高所に設置された照明器具・バスケットゴール・空調設備・放送設備の全てについて、落下防止対策を実施したものを対策実施済とする。

【国立大学法人等施設の屋内運動場等における吊り天井等の落下防止対策状況】




## ○非構造部材の耐震点検・耐震対策（屋内運動等の吊り天井等を除く）

①大学（附属学校を除く）、高等専門学校、共同利用機関

大学等の耐震点検実施率は99.4%、耐震対策実施率は77.5%となっている。

なお、調査対象は、主要団地及び宿泊施設を有する団地における、多数の学生、研究者及び患者が日常的に使用する建物とし、建物内は室面積が200㎡を超える室、又は天井高さ6メートルを超える室とする。

耐震点検実施率　99.4%（9,305棟／9,361棟）（昨年度は99.3%）
耐震対策実施率　77.5%（7,255棟／9,361棟）（昨年度は75.7%）

②附属学校

附属学校の耐震点検実施率は100.0%、耐震対策実施率は76.3%となっている。
なお、調査対象は、すべての団地、建物、室とする。

耐震点検実施率　100.0%（262校／262校）
耐震対策実施率　76.3%（200校／262校）（昨年度は75.6%）